

平成30年

第3回市議会定例会 報告第1号

平成29年度健全化判断比率および資金不足比率の報告について

上記について次のとおり監査委員の意見を付けて報告する。

平成30年9月3日提出

函館市長 工藤 壽 樹

(健全化判断比率)

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
－ (11.25)	－ (16.25)	7.9 (25)	61.1 (350)

備考

- 1 実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は、「－」と表記する。
- 2 表中 () 書きの数値は、早期健全化基準を示す。

(資金不足比率)

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率
地方卸売市場事業	－ (20)
発電事業	－ (20)
水道事業	－ (20)
公共下水道事業	－ (20)
交通事業	－ (20)
病院事業	18.3 (20)

備考

- 1 資金不足額がない場合は、「－」と表記する。
- 2 表中 () 書きの数値は、経営健全化基準を示す。

(根拠規定)

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項および第22条第1項